

## 福島県民を対象とした被ばく検査実施状況(平成24年5月7日公表分まで)

### (1) ホールボディーカウンタに内部被ばく調査

- ・対象 次の21市町村の住民31,622人  
 県北(福島市,伊達市,川俣町)  
 県中(郡山市,須賀川市,田村市,鏡石町,天栄村)  
 県南(白河市)  
 相双(相馬市,南相馬市,広野町,楡葉町,富岡町,川内村,大熊町,双葉町,浪江町,葛尾村,飯館村)  
 いわき(いわき市)
- ・実施時期 平成23年6月27日~平成24年3月31日(継続実施中)
- ・測定機関 福島県,日本原子力研究開発機構,放射線医学総合研究所,総合磐城共立病院,南相馬市立総合病院等
- ・検査結果 預託実効線量として1mSvが14人,2mSvが10人,3mSvが2人,他の方(31,596人:全体の99.9%)は1mSv未満  
(全員が健康に影響の及ぶ数値ではない:福島県地域医療課)  
 「預託実効線量(mSv)」とは,体内から受けるとされる内部被ばく線量について,成人で50年間,子どもで70歳までの累積線量を表したもの。
- ・評価方法  
 平成24年1月31日まで  
 平成23年3月12日に一回取り込んだと仮定して最も安全側にたった厳しい評価となるよう仮定して線量評価(急性摂取シナリオ)  
 平成24年2月1日以降  
 平成23年3月12日から1年間,毎日均等な量を継続して日常的に経口摂取したと仮定した最大線量を推定(日常的な摂取シナリオ)

(資料1「ホールボディーカウンタによる内部被ばく検査の実施状況について」参照)

### (2) 原子力災害対策本部原子力被災者支援チームによる甲状腺簡易測定調査

- ・対象 いわき市,川俣町,飯館村の0歳から15歳の1,080人
- ・実施時期 3月24日~30日
- ・測定方法 NaIサーベイメータによる甲状腺簡易測定
- ・検査結果 測定したすべての方が基準値の毎時0.2μSv未満  
(全体の99%は毎時0.04μSv以下)

(資料2「原子力被災者生活支援チームにおける甲状腺簡易測定調査について」参照)

本県より空間線量率が非常に高い福島県内の地域で,先行して実施された上記の検査結果においても,その被ばく線量は極めて少ないレベルとされています。

福島県県民健康管理調査については[こちら](#)

## ホールボディカウンターによる内部被ばく検査の実施状況について

1 実施期間（取りまとめ期間） 平成23年6月27日～平成24年3月31日までの間

2 実施数内訳 (人)

	4～9歳	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳～	計
男	5,888	5,407	481	889	427	519	13,611
女	5,553	5,390	1,823	3,558	1,109	578	18,011
計	11,441	10,797	2,304	4,447	1,536	1,097	31,622

(注)・対象者の抽出は、子ども及び妊婦を優先にそれぞれ市町村に依頼して行った。

・3歳以下の子どもについては、行動を共にした当該親が代わって受検する取扱いとした。

3 検査の結果

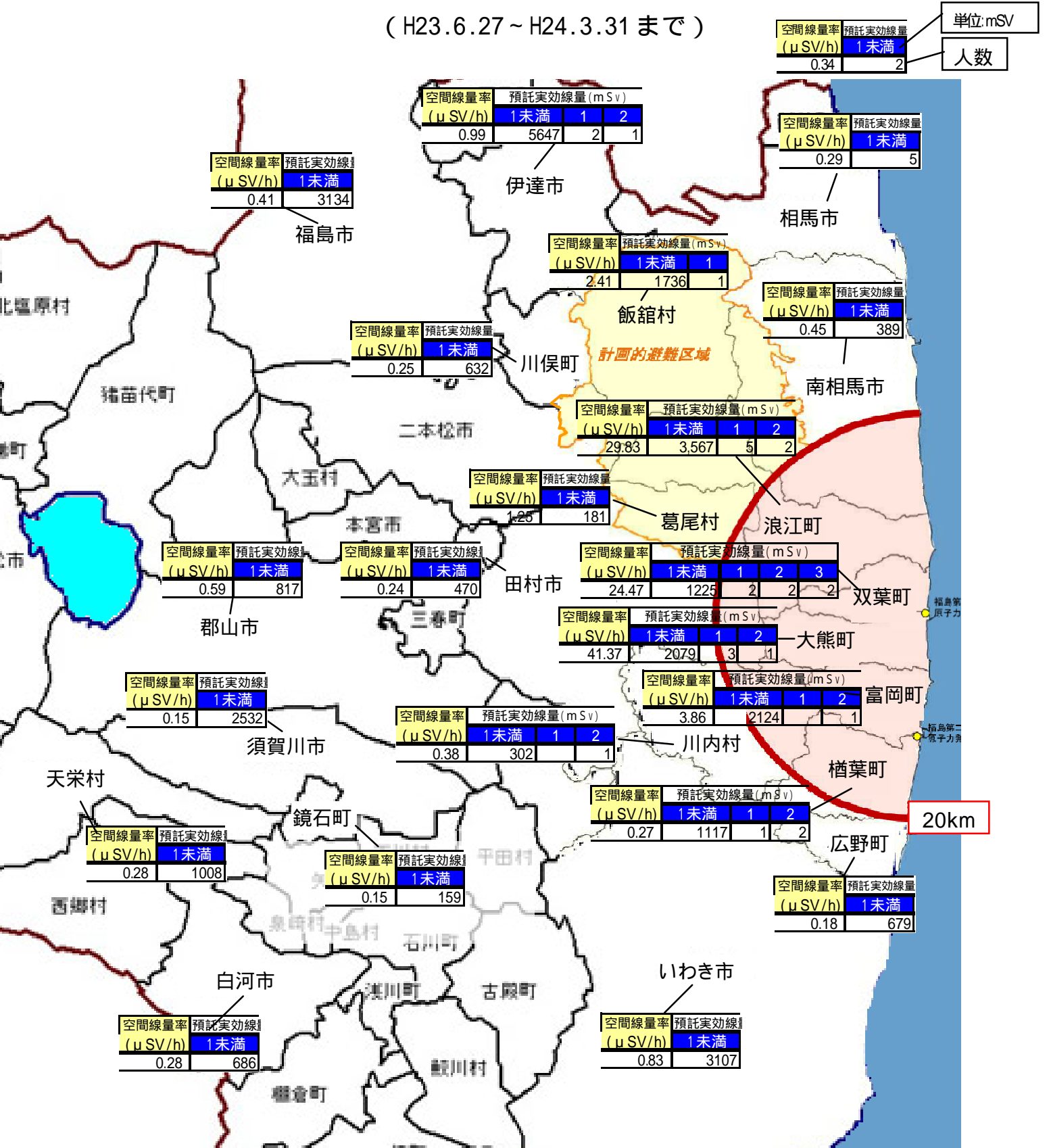
実施機関からの報告に基づく検査結果は、全員が健康に影響が及ぶ数値ではありませんでした。

		預託実効線量				合計 (人)
		1 mSv 未満	1 mSv	2 mSv	3 mSv	
県北	福島市	3,134				3,134
	伊達市	5,647	2	1		5,650
	川俣町	632				632
県中	郡山市	817				817
	須賀川市	2,532				2,532
	田村市	470				470
	鏡石町	159				159
	天栄村	1,008				1,008
県南	白河市	686				686
相双	相馬市	5				5
	南相馬市	389				389
	広野町	679				679
	楡葉町	1,117	1	2		1,120
	富岡町	2,124		1		2,125
	川内村	302		1		303
	大熊町	2,079	3	1		2,083
	双葉町	1,225	2	2	2	1,231
	浪江町	3,567	5	2		3,574
	葛尾村	181				181
飯館村	1,736	1			1,737	
いわき	いわき市	3,107				3,107
	合計	31,596	14	10	2	31,622

(福島県地域医療課：平成24年5月7日公表資料より)

# 福島県実施 ホールボディカウンタによる内部被ばく検査の結果分布

(H23.6.27~H24.3.31まで)

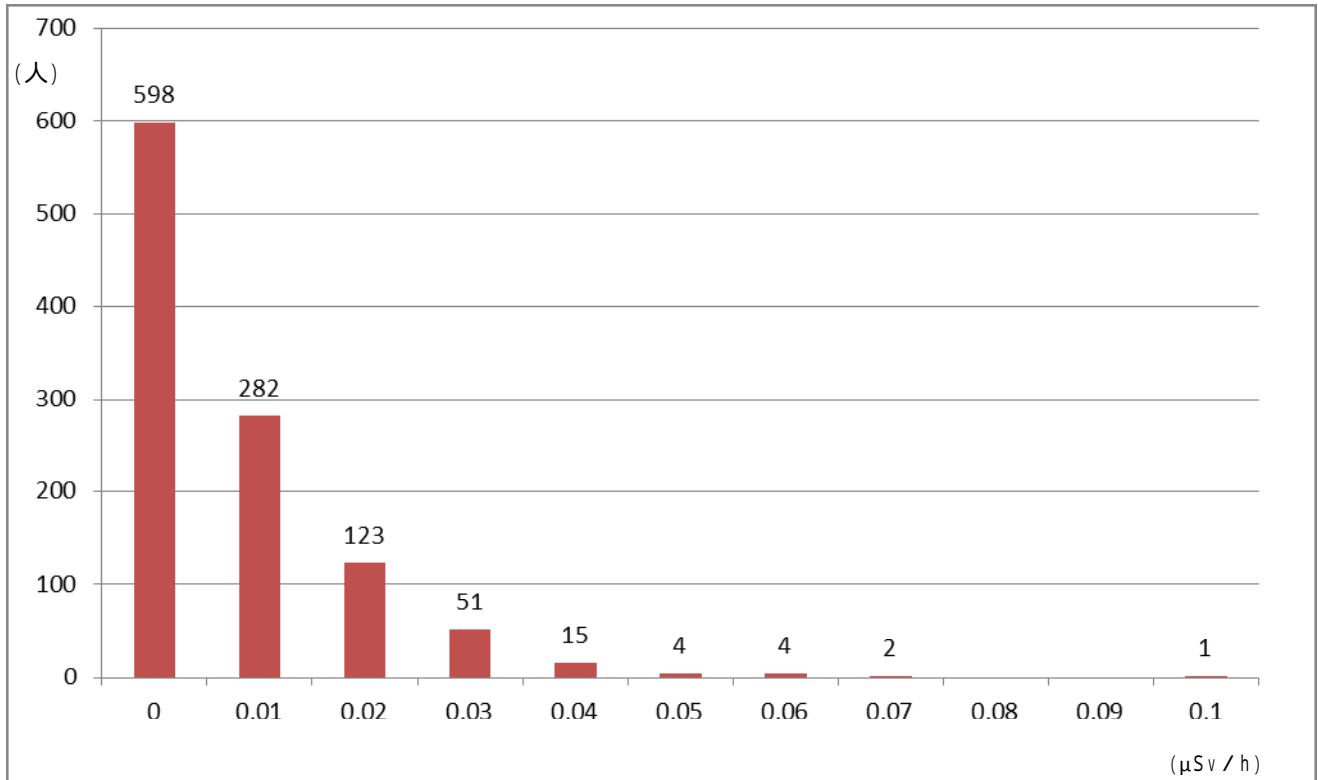


(注) 空間線量率は参考値

文部科学省発表「全国及び福島県の空間線量測定結果」(4/1 0時-0時10分)(市役所が、市内平均等)

## 原子力被災者生活支援チームにおける甲状腺簡易測定調査について

## 測定値の分布



## 結果 (まとめ)

- ・ 全体 ( 1 0 8 0 人 ) の 5 5 . 4 % の 5 9 8 人は毎時 0 μ S v であった。
- ・ 全体の 9 9 . 0 % の 1 0 6 9 人は毎時 0 . 0 4 μ S v 以下であった。
- ・ すべての方が毎時 0 . 2 μ S v ( ) を下回っていた。  
( ) 原子力安全委員会は、この数値以下であれば、問題となるレベルではないとしている。

( 内閣府原子力被災者生活支援チーム医療班による説明会資料より )